



大塚伴南社協・修道大 学と防災イベント開催

11月26日(土)に大塚公民館で地域の中学生を対象とした防災イベント「ぼうさい王に俺はなる！」が開催されました。主催は、大塚・伴南学区社会福祉協議会と広島修道大学の「防災意識を高めるプロジェクト」のメンバーで、半年前から準備を進めてきました。直前まで参加者が集まるかどうか心配していたのですが、当日は大塚中学校から60名を超える生徒が参加する一大イベントとなりました。

この日の主なコンテンツは、災害体験談・新聞紙を使ったスリッパづくり・防災クイズ・AED訓練等で、公民館の全部屋を貸し切った開催です。

広島修道大学の村上さんによる体験談では、2018年の豪雨災害で自宅付近の道路に冠水や陥没が起これば通学できなくなったことや、コンビニエンスストアから物がなくなっていた時の様子などをスライドで説明。いざという時に自分と大切な人を守るためには「知識・備え・助け合い」が重要であると訴え、中学生たちはみんな真剣に聴き入っていました。

続いて、大学生の指導で新聞紙を使ったスリッパ作りを体験。自分で作ったスリッパを実際に履いてみて、歩いた時の感触を確かめたりしました。今回の体験談やスリッパ作り・防災クイズは、すべて「防災意識を高めるプロジェクト」のメンバーによる企画です。そして参加者に楽しんでもらえるようにとイベントにスタンプリーを取り入れたのも彼らのアイデアです。



AED訓練では、人が倒れている時の対処方法やAEDの操作を説明した後、中学生も実際に体験。広島修道大学の岡島さんの大人顔負けの素晴らしいリードで大変盛り上がり、楽しく学ぶことができました。(アンケート結果では、このAED訓練が一番人気でした！)

また当日は、同大学から廿日市市浅原地区で「食」をテーマとして地域活動をしている「浅原を明るく元気に! ☆ミ」のメンバーが防災食のカレーを作り、レシピを付けて参加者全員にプレゼント。

盛りだくさんの内容でしたが、参加された中学生からは「防災を身近に感じる事ができて良い経験になった」「とても楽しかった」「大学生がみんなやさしかった」と大好評。最後にプロジェクトリーダーの岩田さんが「多くの方の協力のおかげで今回の防災イベントが開催できたことをとても嬉しく思います」と感謝の言葉を述べ、約3時間のイベントは大盛況のもと終了しました。

A.CITYからも防災士10名が運営に参加しましたが、学生達のパワーに驚きや感心すると同時に、とても良い刺激を受けました。

今回、地域の大学と連携してこのような取り組みができたことは、とても貴重な経験となりました。これからの自治会活動にも活かしたいと思います。



A. CITYの行事予定



12月10日(土) 有価資源ごみ回収日
12月11日(日) A.CITY 防災訓練

12月18日(日) 自治会定例役員会
12月24日(土) 有価資源ごみ回収日

文化祭で3年ぶりに 子どもみこし復活

11月6日(日)に行われたA・CITY文化祭の開催直前に、こども会は「おみこし担ぎ」を行いました。

例年ではA・CITYに住む小学生全員を対象として行っていた行事でしたが、新型コロナウイルス感染防止の観点から、A・CITYこども会の会員であるお子さんとご兄弟のみに限定させていただきました。

事前に配付した「はっぴ」と「はちまき」を身につけて集合した子どもたち。お祭り感たっぷりの出で立ちで、みんなワクワクした笑顔がこぼれていました。

集合時間の9時には、距離を保った上で、事前に手作りした段ボールみこしをまずは小学3～5年生が担ぎ、ANCさん先導のもと、A・CITYプラザ前を出発してメリィハウスへ向かいました。

道中、笛と太鼓の音に合わせて「わっしょい、わっしょい！」と声をかけながら進み、メリィハウス前でお練りを行いました。

その後、小学1～2年生にバトンタッチ。初めておみこしを担ぐ子も「わっしょい、わっしょい！」と頑張っ

ていました。続いてフレスタA・CITYY店前でもお練りを行い、プラザ周辺を通過して帰りました。

「おみこし担ぎ」を行うにあたって、自治会やANCの方々、メリィハウスとフレスタA・CITYY店の皆様、そして、子ども会会員の保護者の皆様のご支援・ご協力のおかげで無事3年ぶりに実施することができました！子どもたちにとって貴重な経験になったのではと思います。ありがとうございました。



広島市立大学・モニタリング ネットワーク研究室の取組み

今年、A・CITY文化祭に初出展し、研究成果を披露した広島市立大学モニタリングネットワーク研究室様から寄稿いただきましたのでご紹介します。

初めまして。広島市立大学のモニタリングネットワーク研究室です。

我々の研究室では研究テーマの一つとして、土砂災害での人的被害を減らすための研究をおこなっています。

平成30年に広島で起きた豪雨による土砂災害は、私たち広島市民の記憶に新しいと思います。広島市が行った被害のあった4つの学区への調査によると、避難をしなかった人の割合は73%でした。土砂災害が起こるほどの大雨でも多くの人が避難をしないのはなぜでしょう。

みなさんは雨がたくさん降った時どう考えていますか？「いつも何事もないから大丈夫」「周りの人が避難していないから避難しなくていい」「まさか土砂災害に遭うわけない」このように考えている方が多いと思います。

この原因一つとして「自分の周辺の状況が把握できていない」ということが挙げられます。

もし見慣れている川の水位が、今までにないほど上昇している様子を確認できたら、いつもとは違うから避難しようと考えると思います。

そこで我々は、普段みなさんが通勤・通学などで見慣れている川や家の近くの山などの様子を、家のテレビで確認できるシステム「テレビ通知システム」を研究・開発しています。このシステムは内閣府が定めている警戒レベルが上昇すると、自動的にテレビを起動して川や山の様子を画面に表示させます。外に出なくても自分の周辺の状況を把握することができます。

A・CITY文化祭では、実際に地域の方にテレビ通知システムを体験していただき、使用感や改善点など様々な声を聞くことができました。

コロナ禍で地域の方から直接声を聞けない状況が続いていましたので、このような機会を設けていただきありがとうございます。より良いシステムになるよう研究・開発を続けていきたいと思っています。



←研究室 HP

秋の花壇整備《後編》

10月中旬から始まった各住区の花壇整備。先月号で紹介した4住区に続き、11月にはアリーナ住区・アーバン住区で行われました。

アリーナ住区

アリーナ住区は11月13日(日)に花植えを行いました。あいにくの天気でしたが、20名の方が頑張って作業してくださいました。雨の中、短時間で効率よく行われ、パワーが集結していました。

色とりどりのパンジーが綺麗に並んで、春にはチューリップが咲くのが楽しみです。

参加してくださった皆様、ありがとうございました。



アーバン住区

11月13日(日)にアーバン住区では花壇整備を行いました。

当日は朝から雨でしたので、急きょ午前中の予定を中止して、15時から変更し、今年度の役員を中心に10名で作業を行いました。

今回植えたのは、パンジー・ビオラ・アリッサム・芝桜、そしてムスカリやチューリップなどの球根です。

寒い冬を乗り越えて、春には大きく育った華やかな花壇が楽しめることでしょう。とくに皿番館前の公園の芝桜は、数年かけて増やしていく予定なので、長い目で見守っていただければと思います。

今回お手伝いいただいた皆様、ありがとうございました。今回参加できなかった方も、また次回の花植えへのご参加をお待ちしています。

また、日頃から花の手入れに協力してくださっている住区の皆様、いつも



ありがとうございます。今後ともどうぞよろしく願います。

賛助会員より

A. CITYひとまちネットワーク

大塚地区を中心に、子育て支援や地域イベントの企画と運営協力を行っている当団体ですが、今年はA. CITYラジオ体操の協賛をはじめ、広域公園まつりの企画・運営、子ども食堂の開催、地域行事と大学生をつなぐ「僕らが大人になる前に」プロジェクトの推進など、多岐に渡る活動を行うことができました。

先月行われたA. CITY文化祭では、インスタフォロワー1万人越えのキャラ弁講師「よっちママ」を迎え、



人気キャラクターのキャラ弁ワークショップを開催。このワークショップにはフードロス問題に取り組む株ピエトロ様のご支援もいただき、参加者には全員ピエトロの大人気ドレッシングとパスタソースのプレゼントがありました。

このワークショップの運営は、「僕らが大人になる前に」のプロジェクトに参加していた大学生が担当しました。生まれも育ちも沼田地区で広島修道大学に進学した男子学生4人が、ワークショップの参加者をフォローし、和気あいあいとした雰囲気づくりに一役買っていました。

A. CITYひとまちネットワークでは、こんなサービスがあったら暮らしやすいな、こんな活動ができれば地域に喜んでもらえそうだな、と考えることを、小さな活動の積み重ねで実現したいと思っています。今後ともご支援・ご協力をよろしく申し上げます。



ヒルズ&タワーズ管理組合：理事長：今岡陽一（パレット）／副理事長：富永敏通（アーバン）
ヒルズ管理組合：理事長：富永敏通（アーバン）／副理事長：今岡陽一（パレット）